

令和元年度 長野幼稚園 「自己評価および園関係者評価」

1. 園の教育目標

—よく遊びふれあい学ぶ主体的で逞しい子の育成をめざして—

「にっこりあいさつ わくわくトライ しゅきつとそろえる はだしマン」

2. 本年度の重点目標

- ・遊び、体験・生活を通して子どもの知力・徳力・体力の伸長を図る。
- ・気づき考え主体的に活動し友と学ぶことができる子。 —ひとりでできる みんなとできる—

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	B
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	B
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	B
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	B
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

2. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

- ・先生方が丁寧に保育をしてくれている。子どもの顔と名前を覚えて声をかけてくれる。
- ・働き方改革で退園時刻が変更されたことは理解している。
- ・タイヤ、リール、ドラム缶、築山、スロープなど遊びの幅が広がっている。
- ・お茶のみサロンなど地域・学校との交流がありがたい。来年も3回お願いする。
- ・主体的な活動はよい方向である。子どもも喜んでいる。園長等が変わってもこの方針を続けてほしい。
- ・発表会は、年長のみで1日になっているが、年少・年中の親として年長も見たい。
- ・クラス定員を下げしてほしい。英語クラスについても同様。
- ・まだ県立大学側の準備ができていないが、研修等で連携をしていけるとよい。
- ・送迎用駐車場を舗装してほしい。

3. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・職員の主体的保育への取り組み姿勢をはじめ概ねよい評価をいただいた。
- ・子どもの主体的活動をめざし、園内研修で1公開を実施した。さらに資質の向上をめざした研究・研修と他園・組織主催の研修に参加し、自己研鑽に努める職員集団作りを続ける。
- ・日々の保育の振り返りと課題を明確にすることへの取り組みに力をいれていく。
ラーニングストーリー、指導マップ、ドキュメンテーションの活用を継続指導する。
- ・園外保育目的地の系統性を見直しを継続し、明確なねらいのもと確実な評価を行う。
- ・クラスでの取り組みを基本に、年中・年長児が自分たちで企画・運営する集会を継続する。